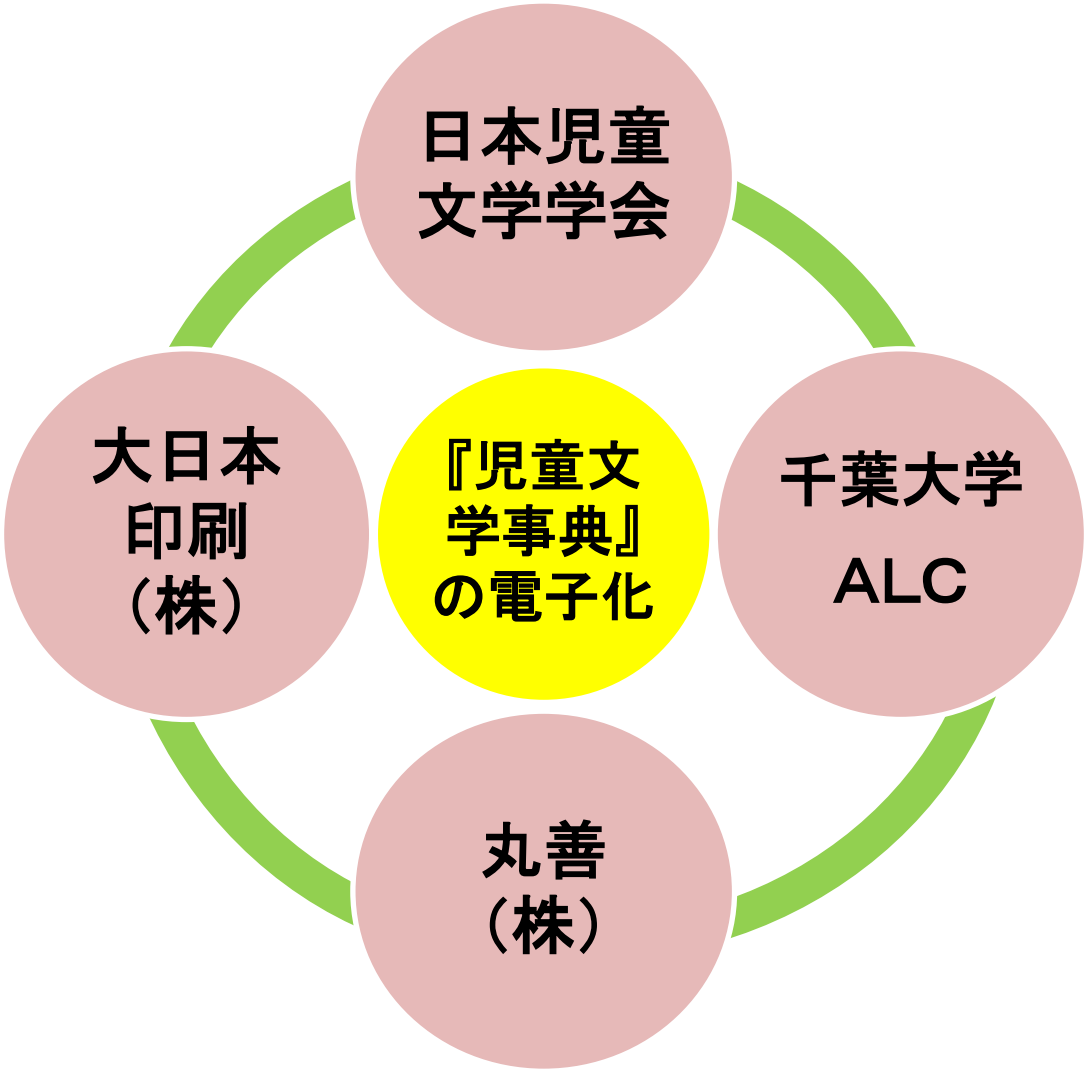
Academic Link

『児童文学事典』の電子的提供

レガシーコンテンツ再生プロジェクト

千葉大学附属図書館学術コンテンツ課
丸茂里江

共同プロジェクト



『児童文学事典』について

・日本児童文学学会編　東京書籍　1988年

児童文学を学ぶ学生にとっては必須の参考図書

↓

絶版！

千葉大学附属図書館では

20年以上図書館で利用
された結果
500ページ以上欠落

古本で
購入

電子化への試み

電子的再生

電子化のプロセスは？

・既存の事典の権利処理

・Web版作成のモデル形成

今までの事典は誰かが使っていると使えなかったけど、電子版ならいつでもどこでも利用できる

電子化のプロセス

①権利処理
②追加・訂正情報の確認
③公開方針等の検討
④データの準備
⑤公開作業

①権利処理

- 出版社

東京書籍と日本児童文学学会の間で「覚書」を取り交わす。

事典の電子化について、無償の場合は学会側の判断で進めることが可能となった。

- 執筆者

各項目毎の執筆者に、連絡がとれるかぎり項目の電子化について了解を求め、また、会報・HPで告知を行った。 電子化の了解を得られない項目もあった。

日本児童文学学会により確認が行われた。

② 追加・訂正情報の確認

- 人名項目の生没年の確認
  - 2012年末の段階で取りまとめ、一部その後の情報を入れ、「追加情報」として提供
- 日本児童文学学会により調査
- 今後、年に1度程度、追加情報の更新（学会とALCとの申合せ）

③公開方針等の検討

- 閲覧は誰でも可能だが、印刷は不可
- 千葉大学が管理するサーバで提供
- 公開ページの構成
- 掲載内容

以下は掲載しない

  - 原本の巻末にあった「世界児童文学史」「児童文学研究文献」「児童文学年表」「索引」、執筆者から電子版への掲載拒否された項目等

④データの準備

- 一部、電子化の了解を得られない執筆者がいた為、該当項目を、隠すなどの処理

- 追加・訂正情報を含む項目一覧作成等

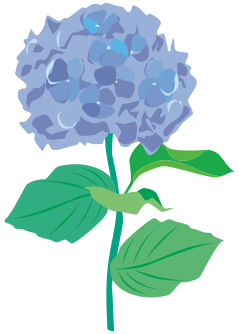
⑤公開作業

- PDFファイル作成
- Webページ作成
- 確認作業
- OPAC登録
- ２０１４年１月公開
  http://alc.chiba-u.jp/cl
- 公開・保存に関する申合せの作成

まとめ

・アクセス回数

・今後

電子版「児童文学事典」の授業での活用について、利用履歴とともに分析

ご静聴ありがとうございました